

令和5年11月14日
学校健康推進課

区立小・中学校給食用食材費高騰への追加対応について

1. 主旨

エネルギー価格・物価高騰が続く中、学校給食の実施にも多大な影響が生じており、区では、令和4年6月分から現行の給食費単価の10%相当分を食材費に上乗せし、食材費を増額している。

令和5年度に入り、日々提供している牛乳が1本あたり5円上昇するなど、食材費の高騰は収束が見えない状況が続いており、現行の食材費ではこれまで通りの栄養バランスや量を保った給食水準の維持が困難な状況にある。

以上のことを踏まえ、今後も学校給食を安定的に維持・継続していくために、現行の学校給食費単価の10%相当分の食材費の増額を15%相当分に拡充する。

2. 食材費高騰の影響

(1) 価格が高騰している主な給食食材

新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の価格との比較は以下のとおり。

品名	単位	令和元年度 価格	令和4年度 価格	令和5年度価格 (9月現在)	上昇率
給食用パン (各種パンの平均値)	1個	60.15	63.67	68.78	14.35%
給食用めん (各種めんの平均値)	kg	481.61	520.75	570.32	18.42%
スパゲティ	kg	355.06	385.06	445.00	25.33%
ひまわり油	kg	307.50	393.13	518.13	68.50%
飲用牛乳	1本	51.09	53.80	58.44	14.39%
砂糖	kg	810.35	860.35	1,017.20	25.53%

(2) 給食費との比較

国の学校給食摂取基準に基づき作成した令和3年度の1年間の献立を令和5年9月時点の食材価格で実施した場合にかかる1食あたりの単価を算出し、その1食あたりの単価と現行の給食費単価との比較は以下のとおり。(小学校の平均値として中学年をモデルに積算した。)

対象	現給食 費単価	令和5年9月の 食材価格で計算	価格差	上昇率
小学校(中学年)	272円	314.52円	42.52円	15.6%

【参考】現行の10%相当分の増額決定時の積算

対象	現給食 費単価	令和4年4月の 食材価格で計算	価格差	上昇率
小学校(中学年)	272円	296.38円	24.38円	9.0%

(3) 学校現場での状況

各校では、国の学校給食摂取基準に基づく児童・生徒の必要なエネルギー量や栄養素量を満たしつつ、豊かな食体験ができるよう多様な食品を用いた給食提供をするため、区が定める食品構成に基づき、献立作成を行っている。

食材価格の高騰に伴い、揚げ物の回数を減らす、パンやめんの回数を減らし米飯回数を多くする、より安価な食材へ変更するなど、各校で様々な工夫を行っているが、現行の10%相当分を上乗せした食材費では、エネルギー量や成長期に必要なカルシウムや鉄等の栄養素量を充足することが困難になっている。

3. 対応内容

上記「2. 食材価格高騰の影響」にある状況を踏まえ、令和5年12月分から、現行の学校給食費単価の10%相当分の食材費の増額を15%相当分に拡充する。

なお、10%相当分との差額分については、学校給食費会計の既存予算の中で対応する。

【追加増額分】

48,073千円（令和5年12月分から令和6年3月分までの食材費の増額分）

【参考】

児童・生徒食材費の増額分（10%から15%に拡充した場合の差額）

対象	現給食費単価	増額分(10%)	増額分(15%)	今回追加分	15%増額後の単価
小学校(低学年)	244円	25円	37円	12円	281円
小学校(中学年)	272円	28円	41円	13円	313円
小学校(高学年)	294円	30円	45円	15円	339円
中学校(自校方式)	337円	34円	51円	17円	388円
中学校(調理場方式)	313円	32円	47円	15円	360円

4. 令和6年4月以降の対応

令和6年度当初予算の編成過程において、今後の物価変動等を注視し、学校給食を安定的に維持・継続していくための食材費を確保するよう調整していく。

5. 今後のスケジュール

令和5年11月中旬～ 学校周知、保護者周知（すぐーる配信）、区HP掲載
12月1日 食材費増額（15%上乗せ）の実施